



●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。
●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

研修医に関するアンケート

医療機関で待遇に差
コロナで研修中断も

協会勤務医の会は、八月に県内の五十五病院に対し「研修医に関するアンケート」を行い研修医の待遇や新型コロナウイルス感染症への対応を聞いた。三十五病院から回答があった(回答率六四%)。概要を報告する。

研修医の身分について、初期研修医では正規職員が

十七医療機関(四九%)、非正規職員が十八医療機関(五一%)で正規職員と非正規職員はほぼ同数だった。後期研修医では正規職員が二十一医療機関(六〇%)、非正規職員が十二医療機関(三四%)、その他が二医療機関(六%)・無回答、非正規または正規)と正規職員の割合が多くなった。つき

に給与・賞与について、初期研修医の給与(各種手当を除く)は平均三十一万七千八百三十六円、後期研修医は四十五万五千五百四十一円だった。初期研修医は二十二万四千四百円、後期研修医は二十万四千五百五十五円と研修先の医療機関によって差があり、その差は後期研修医のほうが大きくなっている。賞与の有無については、賞与がある医療機関は、初期研修医で二十八医療機関(八〇%)、後期研修医で三十一医療機関(八九%)だった。退職金については、あると回答したのは初期研修医では十二医療機関(三四%)、後期研修医で十八医療機関(五一%)。賞与や退職金があると回答した医療機関でその額は給与と同様にその額は医療機関によって差があった。

の初期研修医では十二医療機関(三四%)、後期研修医で十八医療機関(五一%)。賞与や退職金があると回答した医療機関でその額は給与と同様にその額は医療機関によって差があった。

新型コロナウイルス感染症への対応では、「発熱患者への対応を行っている」が初期研修医で二十九医療機関(八九%)、後期研修医で三十三医療機関(九四%)を占めており、大多数の医療機関で研修医も現場で感染症対応を行っていることが分かった。

一方で、「濃厚接触者となり自宅療養となる」「経験症例・手技の減少及び偏向」「協力医療機関が受入延期を申し出る」「発熱外来やワクチン当番などで本来の研修が削られる」「診療所研

修の中断」「各種研修会の中止」など感染症への対応で研修へ影響が出ているとの意見があった。

新専門医制度との関係では「他施設での研修医の身分保障の担保」が課題との声が複数あった。

今回のアンケートは前回(二〇一七年)以来、二回目の実施。身分や給与は、引き続き医療機関によってかなりの差があることが明らかになった。また、新専門医制度や新型コロナウイルス感染症の影響など新たな課題も示された。新型コロナウイルス感染症対応など、研修医も地域医療を支えている。協会勤務医の会では、研修医を含む勤務医の待遇改善を今後も求めていく。